

# 事態の停止を示すフランス語の動詞的要素について<sup>1)</sup>

佐藤 淳 一

## 1. はじめに

一般に, *cesser*, *arrêter*, *s'arrêter*, *finir*, *achever* の5つの動詞的要素は, 前置詞 *de* を介して不定詞と共に用いられ, この不定詞が表している事態の展開の停止を示していると言える。しかしながら, 実際にはこれらの要素が示す停止は全く同じ性質のものではなく, それぞれが独自の特徴を持っていると思われる。従って, 問題の5つの要素は, 互いに異なる意味価値を持っていると考えられる。また, 各々の要素は, その統辞的振る舞いにおいても互いに異なっている。本稿は各要素に固有のこうした価値を, 統辞的特性とあわせて明らかにしようとするものである。

## 2. FRANCKEL (1989) の指摘

FRANCKEL (1989) は, 特に *cesser* と *finir* を取り上げて, その価値の違いについて論じている。要約すると次のようになる。両者は, 共に不定詞が表す実現中の *procèsP* が時間軸上の一時点において非実現へと移行することを示す。ただし *finir* は, 不定詞の目的語などを元に評価される *procèsP* の展開の量が完全に汲み尽くされることを含意し, この点で両者は異なっている。基本的には筆者もこの考えに賛成である。しかし, この FRANCKEL (1989) の考察は, 実例の検証による裏付けがなされておらず, また, 更なる詳細な記述の余地も残していることから, 以下では *achever*, *arrêter*, *s'arrêter* なども加えてもう一步踏み込んだ考察を行なってみようと思う。

### 3. 5つの動詞的要素の意味価値の考察

#### 3.1 arrêter, s'arrêter, cesser と achever, finir を区別する意味価値：

##### 中途段階における停止／最終段階における停止

5つの動詞要素は、事態の展開の停止を示す点では同じであるが、展開のどの段階における停止を示すかにより、2つのグループに大別される。

まず arrêter, s'arrêter, cesser が、展開の途中の段階における停止を示すという意味価値を共有することにより、1つのグループを構成する。以下の(1)～(3)の a の文に見られるように、展開の終点を内含している事態<sup>3)</sup>：「報告書の作成」、「本の講読」、「手紙の通読」については、「報告書」、「本」、「手紙」の“最後の行”以前のところで、まだ“残りの行”があるにもかかわらず、書く、あるいは読む行為が停止することが表される。また、各々 b におけるように、特に終点を内含していない事態：「ヴァイオリンの演奏」、「時計の動き」、「カラスのいたずら」については、それらが、更に後々も継続し得る状況の中、ある時点において停止するということが表される。

- (1) a. Dans dix minutes, je vais arrêter de *rédiger mon rapport* pour prendre un repas.<sup>3)</sup>  
 b. Natacha arrête de *jouer[du violon]*, se retourne et se lève. (*Conte de printemps*, 54)
- (2) a. Quand le téléphone a sonné, il s'est arrêté de *lire le livre*.  
 b. Les pendules s'arrêtèrent de *faire tic tac*, l'une après l'autre. (*Moumine le Troll*, 8)
- (3) a. Elle cesse de *lire[la lettre de son mari]*, tout heureuse à cette idée qu'elle l'a eu, son calorifère. (*Première neige*, 84)  
 b. Nourieli n'attend plus qu'une chose, que le corbeau cesse de *le prendre pour cible* et accepte de le rendre à l'anonymat. (*Un monde fou, fou, fou...*, 25)

他方で、finir と achever が、展開の最終段階における停止を示すという共通の意味価値により、もう1つのグループを成す。(4)b, (5)bのような展開の終点を含まない事態とは組み合わせられ得ないことから明らかなように、これら2つの動詞は、特に終点への指示を行う機能を持っているのであり、まさ

に終点の実現を表すのである。

- (4) a. Le garçon vient lui resservir un Martini. [ . . . ] Le garçon  
achève de remplir le verre. (*Monsieur Hire*, 30)  
b. \*Paul tout à coup acheva de crier.  
(5) a. Il finira de rédiger son rapport avant la date.  
b. \*Soudain, ils ont fini de bavarder.

### 3.2 arrêter, s'arrêter, cesser を区別する意味価値：

#### 1) 意図的停止／非意図的停止

終点以前における停止を示すこれらの動詞は、第一に、この停止に意図性の意味価値を加えるか否かで互いに異なる。

まず *arrêter* は、停止を主体の意図によるものとして示す。*arrêter* は、(6) a のように有生物を主語とすると共に、不定詞に随意的動作<sup>4)</sup>——その主体が自らの意志により自由に開始し、継続し、停止することが可能であるような動作——を表す動詞を選択する傾向を持っており、(6) b のように事物名詞を主語としたり、(6) c のように非随意的動詞を不定詞に採ることは非常に困難である。

- (6) a. *Natacha* arrête de jouer, se retourne et se lève.  
b. \**Les pendules* arrêterent de faire tic tac, l'une après l'autre.  
c. \*Mais, Simon tout à coup arrêta de sangloter.

一般に、文脈に対してこのように常に意志性を求める動詞は、それ自身も意図的な行為を表すと考えられることから、*arrêter* も主体の意志に基づいてなされる停止を示すと思われる。更に *arrêter* は、(7) のように命令法との組み合わせが可能であり、このことから *arrêter* が意図的な停止を示していると言えよう。

- (7) a. *Arrêtez* de vous occuper de moi et de mes affaires vous entendez!  
b. *Arrêtons* de parler avec des 'si' . . .

反対に, *s'arrêter* は, 停止を主体の意志によらないものとして示す。これは, (8)b (= (2)b), (8)cに見られるように, *s'arrêter* が文脈の意志性を必要としないのに加え, (9)のように命令法と共起し得ないことによる。

- (8) a. *Natacha s'arrête de jouer, se retourne et se lève.*  
 b. *Les pendules s'arrêtèrent de faire tic tac, l'une après l'autre.*  
 c. *Mais, Simon tout à coup s'arrêta de sangloter.*  
 (9) a. *\*Arrêtez-vous de vous occuper de moi et de mes affaires vous entendez!*  
 b. *\*Arrêtons-nous de parler avec des 'si'...*

従って(8)aでは, *jouer*[*du violon*]という随意的動作が, その主体である *Natacha* の意図ではなく, 何らかの外的要因によって停止することが表されることになる。

また, *cesser* は, 文脈に意志性があれば主体自身の意図による停止を表し, それが不在ならば主体の意図とは関係のない停止を示す。なぜなら, 以下の(10)b~eのように, *cesser* は意志性の制約を課さない一方で, (11)のように命令法と両立するからである。

- (10) a. *Natacha cesse de jouer, se retourne et se lève.*  
 b. *Les pendules cessèrent de faire tic tac, l'une après l'autre.*  
 c. *Mais, Simon tout à coup cessa de sangloter. (Le Papa de Simon, 16)*  
 (11) a. *Cessez de vous occuper de moi et de mes affaires vous entendez!*  
       (*La vie et rien d'autre, 110*)  
 b. *Cessons de parler avec des 'si'...* (*Conte de printemps, 65*)

## 2) 動的事態の停止 (動作の抑制) / 静的事態の停止 (状態の消滅)

更に3つの動詞は, 動的事態/静的事態のいずれについて停止を示し得るかにより二分される。

先の(8)b, cにおいて見たように, *s'arrêter* は, 意志性のない事態との両立には問題はないのであるが, それが *être populaire, l'être* (<*être jeune*) などような静的状態であると使用は困難となる。

- (12) a. \*A cause du scandale, cette vedette s'est arrêtée d'être populaire.  
 b. \*On n'a plus le cœur jeune impunément quand le corps s'est arrêté de l'être.

また arrêter は、先の(6)b, c で見たように、意志性が存在しない事態との両立が困難であることから、当然(12)のような状態性の事態とはなじまない。

これら2つの動詞が静的な状態の消滅を示し得ないのは、arrêter という語が持つ「対象を抑える、運動を制する (ex. arrêter une voiture, arrêter une manifestation, etc.)」という本来の意味によるとと思われる。

一方 cesser は、これまでの例、及び(13)の例に見られるように、事態の動/静の性質を問わず、その停止を示すことができる。

- (13) a. A cause du scandale, cette vedette a cessé d'être populaire.  
 b. On n'a plus le cœur jeune impunément quand le corps a cessé de l'être.

### 3) 一時的停止/恒久的停止

また、3つの動詞は、事態の再開を含意し、停止に一時性の意味特徴を加える arrêter, s'arrêter と、このような含意を持たず、停止を事実上恒久的なものとして示す cesser とに分かれる。

各々についてのこうした特性は、まず文レベルにおいて、次のような文脈要素との両立可能性から認められる。(14)における pour le moment や、(15)の jusqu'à ce qu'une nouvelle information puisse être obtenue は、ある一定の時間的間隔を表す要素であり、この期間の後に再び penser, discuter などの事態が行われることを暗示している。このような要素を含む文脈においては、arrêter, s'arrêter が用いられやすくなる。一方、(14')の le reste de sa vie, (15')の prendrons une décision などは、事態の再開を否定する要素であり、これらとは cesser が組み合わせられる。なお、(15), (15')においては s'arrêter がいずれも使用不可能となっているが、これは s'arrêter が前述のような非意図的の停止を表すことによるとと思われる。s'arrêter はこの意味価値ゆえに、命令法と同様、この文のような主語自身に対する命令を意味する未来形とは共起しない。

(14) Il  $\left\{ \begin{array}{l} ?a \text{ cessé} \\ a \text{ arrêté} \\ s'est \text{ arrêté} \end{array} \right\}$  de penser à cette chose-là *pour le moment*.

(14') Il  $\left\{ \begin{array}{l} a \text{ cessé} \\ *a \text{ arrêté} \\ *s'est \text{ arrêté} \end{array} \right\}$  de penser à cette chose-là *le reste de sa vie*.

(15) Nous  $\left\{ \begin{array}{l} ?cesserons \text{ de} \\ arrêterons \\ ?nous \text{ arrêterons} \end{array} \right\}$  discuter *jusqu'à ce qu'une nouvelle in-*  
*formation puisse être obtenue.*

(15') Nous  $\left\{ \begin{array}{l} cesserons \\ *arrêterons \\ *nous \text{ arrêterons} \end{array} \right\}$  de discuter et *prendrons une décision.*

以下の(16), (17)は, 「服用した薬の作用」や「人間の歩行能力」という, その本質上, 停止後の再開があり得ない事態が問題となっているため, *cesser* のみが可能例である。なお, (16)において *arrêter* の使用が不可能なのは, 主語が事物名詞であり, 文脈に意志性が不在であることも原因の1つである。

(16) Ce remède  $\left\{ \begin{array}{l} cesse \\ *arrête \\ *s'arrête \end{array} \right\}$  de *faire son effet* six heures après.

(17) *A cause de l'âge*, son grand-père  $\left\{ \begin{array}{l} a \text{ cessé} \\ *a \text{ arrêté} \\ *s'est \text{ arrêté} \end{array} \right\}$  de *marcher* il y a

deux ans.

また, それぞれの動詞の特性は, 各々の談話レベルにおける用法からも認め

られる。arrêter, s'arrêterにより停止を示された事態は、(18)、(19)のように、話の流れの後方において再開されるのがふつうである一方、cesserにより停止を示された事態は、(20)のように、そのまま終わりになるのである。

- (18) Le timbre enfin tinta, et sa sœur apparut, toute enveloppée en ses grands vêtements de route. Et tout de suite, sans s'être seulement reconnues, elles s'étreignirent violemment, s'arrêtant de s'embrasser pour recommencer aussitôt. (*Clair de lune*, 56)
- (19) Roland s'arrête de jouer en faisant signe de la main «d'y aller» à Pierre. [...] On entend Roland recommencer à jouer du piano. (*Battement de cœur*, 61)
- (20) [...] la petite Rita, qui saute la corde. Nous entendons le bruit d'une voiture à cheval qui s'arrête à proximité. Rita cesse de sauter et regarde vers la voiture. La fillette abandonne sa corde à Don Jaime [...] (*Viridiana*, 18-19)

#### 4) 急激的停止／段階的停止

最後に3つの動詞は、停止に急激性の意味合いを加え、一時点を境に事態がぱったりと停止する様を表すか、こうした意味を含ませることなく、純粹に停止のみを示すかにより、ここでも arrêter, s'arrêter と cesser とに分かれる。

これは、arrêter並びにs'arrêterが、tout à coupを初めとする瞬間性を強調する副詞とはなじみやすいものの、peu à peuのような漸進性を強調する副詞との両立は困難である一方で、cesserはいずれの副詞とも自然に両立し得ることに基づく。

- (21) Après que nous nous sommes éloignés l'un de l'autre,  
 nous 

avons immédiatement cessé
avons immédiatement arrêté
nous sommes immédiatement arrêtés

 de nous voir.

- (21') Après que nous nous sommes éloignés l'un de l'autre,  
 nous  $\left\{ \begin{array}{l} \text{avons cessé} \\ \text{?avons arrêté} \\ \text{*nous sommes arrêtés} \end{array} \right\}$  *peu à peu* de nous voir.

- (22) La semaine dernière il a commencé à faire froid,  
 et les oiseaux  $\left\{ \begin{array}{l} \text{ont soudain cessé} \\ \text{ont soudain arrêté} \\ \text{se sont soudain arrêtés} \end{array} \right\}$  de chanter.

- (22') La semaine dernière il a commencé à faire froid, et depuis,  
 les oiseaux  $\left\{ \begin{array}{l} \text{ont cessé} \\ \text{*ont arrêté} \\ \text{*se sont arrêtés} \end{array} \right\}$ , *de jour en jour*, de chanter.

- (23) Après que le préposé a eu fermé l'écluse d'amont, la rivière  
 $\left\{ \begin{array}{l} \text{a cessé} \\ \text{*a arrêté} \\ \text{s'est arrêtée} \end{array} \right\}$  *tout d'un coup* de couler.

- (23') Par manque de pluie, la rivière  $\left\{ \begin{array}{l} \text{a cessé} \\ \text{*a arrêté} \\ \text{?s'est arrêtée} \end{array} \right\}$  *petit à petit* de couler.

以上 1～4 の指摘から、3つの動詞について次のようなことが言えよう。

*cesser* は、他の文脈要素が持つ意味的性質に影響を及ぼすことなく、これを透過し、自らは純粹に時間軸上における事態の展開の停止のみを示している。従って *cesser* は文法性の度合いが高いアスペクト表現であり、文の補助要素、すなわち助動詞に近いものである。

これに対して、*arrêter*, *s'arrêter* は、単に停止を示すのではなく、意図性や一時性などの独自の意味内容を以て、主語に対し叙述を行う語彙的単位であり、他の様々な文脈要素とも意味面における相関関係を結ぶ通常の文主動詞である。



### 3.3 achever と finir を区別する意味価値：

#### 1) 絶対的な終点までの実現／任意の終点までの実現

achever も finir も、事態がその展開の終点まで実現することを表す点では同じであるが、前者が専ら事態に固有の絶対的な終点——例えば、lire le livre という事態において、補語 le livre の最終ページの講読——の実現を示すのに対して、後者は、同種の終点の実現を表す他に、もう一つ別のタイプの終点の実現を表すことがある。というのも、achever を用いた(24)の文は(26)aにのみ等しい一方で、finir を含む(25)の文は、先の(26)aに加え、状況により(26)bの意味にもなり得るからである。この場合、finir が示すのは、事態に対し外部から任意に規定された終点——例えば、同じ lire le livre という事態において、その主体 (=主語)、あるいはその他の人により、「今日はこのページまで読む」というように“目標”として任意に設定された終点——の実現である。

(24) Il a achevé de lire le livre.

(25) Il a fini de lire le livre.

(26) a. Il a lu tout le livre.

b. Il a lu jusqu'à la page. . .

finir のこうした特性は、以下の(27)～(31)のような例においても確認できる。

(27) Finissez de vous plaindre! (*Le Robert*, finir の項)

(28) T'as pas fini de m' débiner? (*Panique*, 98)

(29) Vous avez fini de m' emmerder avec votre satanée compatibilité!  
(*La vie et rien d'autre*, 116)

(30) Finis de rire! Il faut travailler. (*Robert Méthodique*, finir の項)

(31) Oh, ce que tu peux être agaçante! T'as pas bientôt fini de me suivre, non! (*Battement de cœur*, 75)

一般にこの種の文には、本質的に人に不快感を催させる事態 ((27)～(29)), あるいは特定の状況において他者の迷惑となっている事態 ((30), (31)) が含まれており、発話者はこれらに対し、「この事態はこの程度続けば潮時である

う」と、自らの判断により任意に終点を設定すると共に、上記のような実質的命令文により、この終点の一刻も早い実現を催促するのである。

## 2) 極限への到達

achever には、(4)a, (24)のような、終点の実現に伴う事態の停止を示す用法の他に、anéantir, attrister, désespérer, exaspérer, fâcher などのような、感情の高まりの極限に相当する事態を表す動詞と組み合わせられ、この極限状態への到達を意味する用法がある<sup>5)</sup>。

(32) Le regard de la jeune fille  $\left\{ \begin{array}{l} \text{achève} \\ \text{'finit} \end{array} \right\}$  d' *anéantir* Don Jaime.  
(*Viridiana*, 44)

(33) Le Matou  $\left\{ \begin{array}{l} \text{acheva} \\ \text{'finit} \end{array} \right\}$  de me *désespérer* en me disant qu'il fallait attendre la nuit. (*Les Paradis des chats*, 14)

(34) Cette remarque  $\left\{ \begin{array}{l} \text{a définitivement achevé} \\ \text{'a définitivement fini} \end{array} \right\}$  de *l'exaspérer*.

(35) A sa parole, j'  $\left\{ \begin{array}{l} \text{ai achevé} \\ \text{'ai fini} \end{array} \right\}$  de me *fâcher*.

(36) Une série d'échecs  $\left\{ \begin{array}{l} \text{a achevé} \\ \text{'a fini} \end{array} \right\}$  de *l'attrister*.

これらの例では、「疲労困憊」「絶望」「激高」などの心理的極限への到達が表されている。

一方の finir には、これに類する用法も、対立する用法もない。

以上1及び2の考察から、achever と finir をそれぞれ次のように特徴付けることができよう。

まず finir は、純粋に終点の実現とそれに伴う事態の停止のみを示し、その

終点が絶対的なものなのか、任意のものなのかについては何も述べないことから、事態の展開の様式のみを指示するアスペクトの表現であり、*cesser*と同様に高度の文法性を持つ助動詞的要素である。

これに対して *achever* は、*finir* のようなアスペクト的意味よりも、むしろ事態の最終局面を強調するものであり、従って *finir* に比べると意味内容が濃い要素である。ただし、先に見た *arrêter*, *s'arrêter* ほど他の要素と緊密な意味的關係を持つてはおらず、これらよりやや文法性は高いと思われる。

#### 4. 5つの動詞的要素の統辞的特性の考察

##### 1) 主語要素に対する制約

以下の(37)及び(38)のように、*cesser* と *finir* は主語要素に対し制約を課すことがない。主語は後続不定詞に選択されるのであり、この不定詞に許される限りにおいて、いかなるものでも *cesser*, *finir* の主語として可能である。

これに対して *arrêter*, *s'arrêter*, *achever* は、(39)～(41)のように、各々独自の制約を持っており、主語は、仮に後続不定詞に許されたとしても、これらの要素により拒まれることがある。

- (37) a. *Quand le téléphone a sonné, Paul a cessé de travailler.*  
 b. *Avec le temps, ce genre de musique cessera d' intéresser le public.*  
 c. *Il a cessé de pleuvoir il y a une heure.*
- (38) a. *Marie a fini de rédiger son rapport hier.*  
 b. *Les pêches, que nous avons récoltées il y a une semaine, ont fini de mûrir.*  
 c. *Je pense qu' il finira de pleuvoir dans quelques minutes. . .*
- (39) a. *J'ai arrêté de fumer après la maladie.*  
 b. *'Le vent est tombé et les feuilles des arbres ont arrêté de frémir.*  
 c. *? Il a arrêté de neiger ce matin, vers huit heures.*
- (40) a. *Surpris de la voir, ils se sont arrêtés de bavarder.*  
 b. *Le vent est tombé et les feuilles des arbres se sont arrêtées de frémir.*  
 c. *? Il s'est arrêté de neiger ce matin, vers huit heures.*
- (41) a. *Pierre peut achever de rédiger son rapport avant la date.*

- b. *Sa conduite indiscrette* a achevé de les exaspérer.  
 c. 'Je pense qu' il achèvera de pleuvoir dans quelques minutes. . .

## 2) 受動化における振る舞い

まず *cesser* と *finir* は、文の受動化において、自らはこの操作を受けることなく、能動文において採っていたのと同じ形態を採る。受動形となるのは後続不定詞である。

反対に、*arrêter*, *s'arrêter*, *achever* は、受動化の直接の対象となり、自らが受動形となる。

- (42) On a cessé d'observer le phénomène il y a quelques ans.  
 (42') a. 'Le phénomène *a été cessé* d'observer il y a quelques ans.  
 b. Le phénomène a cessé d' *être observé* il y a quelques ans.  
 c. 'Le phénomène *a été cessé d'être observé* il y a quelques ans.  
 (43) On a fini de construire la maison au printemps dernier.  
 (43') a. 'La maison *a été finie* de construire au printemps dernier.  
 b. La maison a fini d'*être construite* au printemps dernier.  
 c. 'La maison *a été finie d'être construite* au printemps dernier.  
 (44) On a arrêté/s'est arrêté d'observer le phénomène il y a quelques ans.  
 (44') a. 'Le phénomène *a été arrêté* d'observer il y a quelques ans.  
 b. 'Le phénomène s'est arrêté d'*être observé* il y a quelques ans.  
 c. Le phénomène *a été arrêté d'être observé* il y a quelques ans.  
 (45) Il achèvera de rédiger son rapport demain.  
 (45') a. 'Son rapport *sera achevé* de rédiger demain.  
 b. 'Son rapport achèvera d'*être rédigé* demain.  
 c. Son rapport *sera achevé d'être rédigé* demain.

以上の1及び2の特性から、次のようなことが言えよう。

*cesser* 及び *finir* は、[主語—後続不定詞] という既製の命題部分に、後から補助要素として加えられる挿入要素である。そして、このような構成法は、まさに助動詞の特徴であることから、統辞的観点から見ても *cesser* と *finir* は助動詞の範疇に入る要素である。

対する *arrêter*, *s'arrêter*, *achever* は、文の主動詞として機能しており、従って、通常の本動詞の範疇に分類される要素である。

また、これらの事実は、*cesser* と *finir* が意味面において助動詞に近いものであり、*arrêter*, *s'arrêter*, *achever* は通常の述語動詞であるという前章の指摘を裏付けるものとなる。

## 5. 結論

本稿では、事態の停止を示す5つの要素について、その意味価値、並びに統辞的特性を明らかにし、最終的にはこれらの要素を助動詞と本動詞に分類した。しかしながら、同じ本動詞でも、*achever* や *s'arrêter* は助動詞的な部分も持ち合わせていることから、実際には、両範疇はその境界を明確に画定できるものではなく、むしろ連続的につながっていると考えられる。

### 注

- 1) 本稿は、日本フランス語学会第148回例会(1996.9.28. 於 上智大学)において「フランス語の停止相表現について」と題して行なった発表をまとめ直したものである。
- 2) 実際には、一つの事態について終点があるか否かは、厳密な基準に照らして判定されなければならない。この基準を明確に示すことは今後の課題の一つである。本稿ではひとまず、[主語—不定詞—目的補語]の全体から成る事態が、一定の時間における展開の後に、何らかの結果を残すのと引き換えに、もはや続行し得なくなる場合に、この事態を「終点を内含する」ものと規定し、理論の上無限に続行可能である場合に、それを「終点を内含しない」ものとした。
- 3) 後に出典の表示のないものは筆者による作例。以下同じ。
- 4) 事態の終点の問題と同様、一つの事態が随意的なものであるか否かも、明確な基準を元に判断されなければならない。本稿では主として感情に支配されて行なわれる事態や、静的な状態性の事態を特に非随意的と考え、それ以外を曖昧ではあるが随意的とした。
- 5) 同じく感情的な事態であっても、昂揚の極限に相当する現象ではなく、*agacer*, *embêter*, *ennuyer*, *en avoir assez* のような持続的な状態性の感情については、*achever* を用いることは不可能である。このような事態については、その本格的な開始を *commencer* が表すことになる。

(i) a. Il a achevé de m'agacer avec ses réflexions.

b. Il a commencé à nous agacer, avec ses hésitations!

- (ii) a. 'Tu as achevé de m'embêter avec tes histoires.  
 b. Tu as commencé à m'embêter avec tes histoires.  
 (iii) a. 'Ne parle plus! j'achève d'en avoir assez.  
 b. Ne parle plus! je commence à en avoir assez.

また, croire, être malade, avoir des feuilles などの事態も, 持続的な状態であり, achever を用いることは不可能である。この場合にも, その状態の本格的開始が commencer により表される。

- (iv) a. 'En observant la situation, j'ai achevé de croire que tout irait bien.  
 b. En observant la situation, j'ai commencé à croire que tout irait bien.  
 (v) a. 'Il a achevé d'être malade vers la fin de juillet.  
 b. Il a commencé à être malade vers la fin de juillet.  
 (vi) a. 'Les arbres achèvent d'avoir des feuilles.  
 b. Les arbres commencent à avoir des feuilles.

vieillir, pourrir などのような現象は, 一見, 時間の経過の後に到達する極限的な事態のように思われるが, achever を用いることは不可能である。これは, これらの現象が, それぞれ「老いる」, 「腐る」などのような, 到達点の現象と共に, そこに至るまでの「老化」や「腐敗」の過程までを含んでおり, exaspérer, fâcher, attrister などのような, 最終的・極限的現象とは異なっていることによると思われる。従ってこのような現象も, その本格的実現が commencer により表されることになる。

- (vii) a. 'Maintenant, sa mère a achevé de vieillir.  
 b. Maintenant, sa mère a commencé à vieillir.  
 (viii) a. 'Les pommes de la dernière récolte achèvent de pourrir.  
 b. Les pommes de la dernière récolte commencent à pourrir.

#### [参考文献]

- FRANCKEL, J.-J. (1989) : *Etudes de quelques marqueurs aspectuels du français*, Droz.  
 FREED, A. F. (1979) : *The semantics of English aspectual complementation*, D. Reidel.